

ICT活用入門

前回と同じように、同じ班の人たちで話しやすいように近くに集まること

担当 稲垣 俊介



1. INFOSS情報倫理2026

2. 問題解決とは？

3. 問題解決の実践



INFOSS情報倫理2026

おわりましたか？

YINS-LMS-2026 日本語 (ja) ▾

2026(EEC104 A)ICT活用入門

[Home](#) / [マイコース](#) / [2026EEC104 A](#)

修了テスト1～5:満点になるまで頑張る。

期限:5月10日(日)23:59

- > 新しいセクション
- > 新しいセクション
- > 新しいセクション
- > 新しいセクション
- > 新しいセクション
- > 新しいセクション

▾ 新しいセクション

☰ INFOSS情報倫理2026 修了テスト1



授業カリキュラム

1. INFOSS情報倫理2026

2. 問題解決とは？

3. 問題解決の実践



問題解決能力はなぜ必要なの？

予想が
できない時代

VUCA時代

Volatility(変動性)

Uncertainty(不確実性)

Complexity(複雑性)

Ambiguity(曖昧性)



問題ってなに？

理想

あるべき姿、状態

(例) 毎日勉強も友人との関係も充実



ギャップ＝問題

現実

今の状態

(例) 授業に行くだけでギリギリ精一杯



問題解決の流れ

問題発見

- 現状分析
- 原因特定



実践

- 実践・実行



解決案検討

- 仮説検討
- 解決案作成



評価

- 振り返り
- 問題の再発見



授業カリキュラム

1. INFOSS情報倫理2026

2. 問題解決とは？

3. 問題解決の実践



「山梨大学の設備や制度の改善案を提案しよう！」

本課題のねらい

1. 自分たちで課題を発見・解決を提案する問題解決の力を育てる
2. KJ法、ブレインストーミングなど問題解決のための手法を考える
3. 自分たちの考えを、わかりやすく伝える報告を行う
4. 報告(発表)を相互評価することで、評価する視点に慣れる。



設備を例にすると

学校設備の改善提案のテーマ

- ① バリアフリー(障害を持つ人にも優しい)
- ② 安全(ここが危ない！)
- ③ 有効活用(このスペースもったいない)
- ④ 環境・省エネ(地球にやさしい学校づくり)
- ⑤ 表示(案内表示の改善提案)
- ⑥ 豊か(豊かな雰囲気づくり)



問題の発見から解決まで

①問題の発見

- 問題を個人で考える(3個以上)
- 問題をグループで共有する
- 解決すべき問題を1つにする

②解決案の検討

- 解決案を個人で考える(2個から3個)
- 解決案をグループで共有する
- 解決案を絞りスライドにまとめる

根拠が大事

③実践(次回)

- ポスターセッション形式
15分を4回転

④評価・改善(次回)

- 他者の評価・提案を受けて、改善



KJ法

地理学者、文化人類学者
川喜田二郎(東京工業大名譽教授)の名前から「KJ法」

方法

- データをカード(付箋)に記述(名前書いて)
- カード(付箋)をグループごとにまとめる
- グループ名をつかって図解化

ルール

- 判断・結論を出さない(結論厳禁)
- 粗野な考えを歓迎する(自由奔放)
- 量を重視する(質より量)
- アイデアを結合し発展させる(結合改善)



KJ法

北館に
手すりを作る
(田中)

段差に
スロープを
(鈴木)

低い自動販売
機の導入
(佐藤)

←個人で書いたもの

- 付箋にアイデアを一つ一つ書く
- 一人最低3つは書く
- 付箋の隅に名前を書く

PowerPointを利用します

北館に
手すりを作る

段差に
スロープを

低い自動販売
機の導入

←個人で書いたもの

食堂の
カウンターを
下げる

←グループで追加したこと
購買部への
ルートを作る

- アイデアをグルーピングする
- 話し合いながら付箋を追加する



KJ法実践

ナビゲーション

▼ Home

 ダッシュボード

＞ サイトページ

▼ マイコース

▼ 2026EEC104 A

＞ 参加者

 パッジ

 コンピテンシ

 評定

＞ 一般

＞ 情報倫理2026テキスト

＞ 情報倫理2026修了テスト

＞ KJ法

＞ 新しいセクション

＞ 新しいセクション

＞ 一般

＞ 情報倫理2026テキスト

＞ 情報倫理2026修了テスト

▼ KJ法

 [KJ法はこちらから](#)



解決案を考える

でてきた意見から、グループとして提案する意見を選びます

- 最初にあげた問題点を解決できる方法か？
- 実際に調査をしての検討を
- 実現する可能性がより高いものを
- すぐできる提案と長期的な提案もあり



調査をしてみよう

1. 提案に説得力を持たせる材料を調査しよう！

- ① 提案の具体化 → 場所、内容、費用
- ② 現状調査 → 現状写真、アンケート、問題点
- ③ 事例調査 → 他校の事例、類似事例
- ④ 提案の効果 → 費用面、心理面など
- ⑤ 費用の解決 → 安い方法、補助金など

2. 何を調べるかを相談し、分担して調べる

調べたサイトは内容・サイト名を必ずメモ



プレゼンを作成しよう 参考

- ①**提案**:「私たちは〇〇を提案します」
- ②**根拠**:「現状にはこんな課題があります」
「他校にはこんな例があります」
- ③**詳細**:「なのでこのようなことを提案します」
- ④**効果**:「実現すればこんな効果があります」
- ⑤**結論**:「〇〇すれば安全性は高まります」
結論は相手にメリットを感じさせるように！



プレゼンテーション 次回

- 発表は5分以内
- 他者の評価
- 評価基準
 - 内容(10点)
 - 方法(10点)
 - 同点はありません。1点から10点をそれぞれつけます。
 - コメントを書いてあげましょう。
- 自己(自分の班の)採点もしましょう



プレゼン後の予定 ICT操作演習

- Word・Excel・PowerPoint
をグループで協力してできるようになるのが目的です。

